



今号の表紙
 甘強酒造事務所
 (登録有形文化財)

2012.6.1
 No. 140

○所在地：城四丁目（蟹江川左岸）

町議会からKanieのあなたにお届け



CONTENTS 3月定例会・臨時会特集号

6月定例会の日程

- 4日(月)開会
- 5日(火)4日の予備日
- 7日(木)常任委員会
- 14日(木)一般質問
- 15日(金)14日の予備日
- 20日(水)最終日

※議事の都合により日程は変更になる場合があります。
 ※赤字の会議は傍聴することができます。
 傍聴席は役場3階にあります。
 【問い合わせ】議会事務局
 電話(95)1111(代表) 内線301・302

5月臨時会

役員改選
 議長 中村英子議員
 副議長 吉田正昭議員

12



会派代表

6人代表質問

4

町長所信に対し

横江町長 所信を表明

3

監査委員

平野正雄氏を再任

**子ども医療費
 対象年齢拡大
 中学校卒業まで無料化**



2

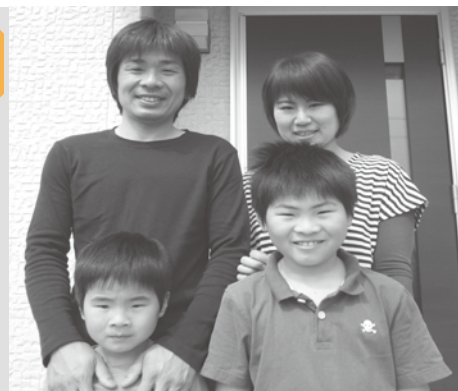


特集

3月定例会の主な内容

子ども医療費の対象年齢を拡大

中学校卒業まで 医療費無料化



この子たちの将来のためにも、議員の皆さん頑張ってください。（新千秋・黒田さんご家族）

定例会の あらまし



▼1日（開会）

24年度の予算提案に先立ち、町長が施政方針を行いました。

予算案、条例改正案など28件が提案説明され、そのうち、先議議案などを可決しました。

▼6日（常任委員会）

総務民生・防災建設常任委員会が開かれ、本会議から付託された8件の審査を行いました。

▼12日（代表質問）

24年度の施政方針に対し、各会派を代表する議員6人が質問しました。

▼15日（予算審議）

24年度予算案（一般会計・特別会計・水道事業会計）に対し、活発な質疑が交わされました。

▼21日（閉会）

質疑・討論を行った後、24議案と意見書1件を可決、1件を継続審査とし閉会しました。

条例改正を審議

子ども医療費の対象年齢を 中学校卒業まで拡大

24・7・1から

（全員賛成）

通院費の助成対象年齢を小学校卒業までから中学校卒業まで拡大するものです。これにより、入院費・通院費ともに中学校卒業まで助成されるようになります。

介護保険料を改正

所得段階と 保険料が変更

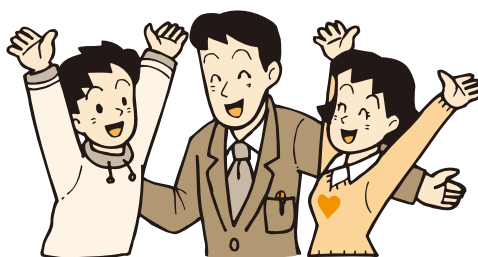
24・4・1から

（全員賛成）

第5期介護保険事業計画策定により、所得段階が10段階となり、年間保険料が表のとおりに変更となりました。

改正後の介護保険料

所得段階	年間保険料
第1段階	28,500円
第2段階	28,500円
第3段階	39,900円
第4段階	42,750円
第5段階	48,450円
第6段階	57,000円
第7段階	68,400円
第8段階	79,800円
第9段階	88,350円
第10段階	99,750円



23年度補正予算を審議

会計別	補正額	補正後の額	審議結果
一般会計	1億893万4千円	99億8,492万6千円	全員賛成
国民健康保険事業	△2,444万4千円	35億6,154万6千円	全員賛成
土地取得	1,618万8千円	1億9,621万7千円	全員賛成
特別会計 第二学戸土地地区画整理事業	110万6千円	143万9千円	全員賛成
介護保険管理	△338万円	17億5,518万2千円	全員賛成
コミュニティ・プラント事業	△60万6千円	756万4千円	全員賛成
公共下水道事業	△7,478万2千円	7億4,638万円	全員賛成
後期高齢者医療保険事業	260万円	5億9,718万6千円	全員賛成

体育指導委員がスポーツ推進委員に
（全員賛成）
スポーツ振興法がスポーツ基本法に全部改正されることに伴い、体育指導委員がスポーツ推進委員に改められました。

人事案件を審議

監察委員

ひらの まさお
平野 正雄氏
の再任に同意
（全員賛成）

任期満了（24年5月8日）に伴い、平野正雄氏（今西二丁目）の選任に同意しました。任期は、4年です。

意見書を提出

※意見書の取り扱い
町議会では、全会派一致で採択されたものだけが提出されることになっていきます。

国へ提出

◆「介護職員待遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める意見書

平成24年度 施政方針

施政方針の主な内容

2011年における最も衝撃的な出来事は、申し上げるまでもなく東日本大震災の発生でした。震災は甚大な被害をもたらしましたが、それを乗り越えようとする人々の「絆」をつなぎ、一人ひとりが当事者としての意識を持ちながら、心をひとつにしてまちづくりに取り組むことの大切さを再認識する機会となりました。当町におきましても、引き続き被災地の復興に向けた支援に取り組んでいきますとともに、平成23年度にスタートさせた第4次蟹江町総合計画に掲げる理念と指針に基づき、町民の皆様との「絆」を深めていけるよう、平成24年度の施策を進めて参ります。

☆心身ともに健やかに支え合って暮らせるまちづくり

- 平成24年度からはリニューアルした蟹江南保育所を開設します。また、現在仮設の蟹江南保育所には、蟹江児童館と蟹江学童保育所を開設します。
- 子ども医療費の助成の対象年齢を、平成24年7月から中学校3年生まで拡大します。

☆次代につなぐ教育と生涯学習のまちづくり

- 猛暑対策として、中学校で未設置となっている全ての普通教室に空調設備を完備します。
- 蟹江町体育館を全面的にリニューアルしていきます。また、改修後の使用料は、受益者負担の見直しを図ります。

☆豊かな環境と安全がもたらす持続可能なまちづくり

- 国の緊急雇用創出事業を活用し、ごみ収集拠点地図電子化事業を実施していきます。
- 海部地方5つの消防本部が共同して消防指令台、デジタル無線設備の整備を進めます。また、救急自動車を更新し、機動力の強化と救命率向上を図ります。

☆誰もが元気に楽しく住みつづけたいくなるまちづくり

- 近鉄蟹江駅周辺に設置されている2箇所の駐輪場を、民間との共同により駐輪施設を設置して適正な容量台数の確保を図り、利用者の利便性を高めていきます。
- 停留所の増設や新たなルートを設定して行う社会実験の実施を含めて、現状のお散歩バスの運行ルートを見直ししていきます。

☆町民・行政の協働と効率的な行政運営によるまちづくり

- ホームページを刷新し、職員がリアルタイムで更新することが可能となりました。さらに、災害時には専用画面に切り替える機能を備えており、緊急事態時の有益な情報発信の基盤を確保します。

我々の手の届かないところで日々刻々と社会情勢が変化していくわけではありますが、それらの動向をしっかりと捉えながら町政を前に進めるための舵取り役を引き続き担っていきます。そして、住民・議会・行政の3者が一体となり、それぞれの立場や役割の中で、横のつながりを築いていけるよう、協働によるまちづくりを推進していきますとともに、明るい未来が見えるまちづくりに全力で取り組んでいきます。

町民の皆様と議員各位のご理解とご協力をいただきますよう心からお願い申し上げます。

厳しさを増す財政 新たな枠組みでムダの排除を

横江町長 平成17年から町長を
させていた。2期目
最後の予算となるが、
優先順位の高いところ
からつけさせていた。だ
いた。特に防災面に力
を入れ、形にあらわれ
るもの、将来に形とし
て残すもの、それも含
めてソフト面にも力を
入れたつもりである。
やりたいことはたくさ

問 横江町長の2期目
最後の予算だが、内容
が乏しい、財政が厳し
くやり残しがあるのか
派手さはないが、そ
のときに合った優先
順位の高いところか
ら予算措置している。



んあるが、予算審議の
ときにお話させていた
だきたい。

問 個人住民税の減少、
高齢者の増加、医療費、
介護費など町負担の増
大。町の財政は厳しく
なるばかりだと思いが。

**JR 駅北の区画整理
事業で税収増加を見
込みたい。**



▲税収増加を見込む JR 駅北區画整理事業

横江町長

平成22年度から個人
住民税が減少傾向にあ
るの事実である。J
R 駅北の区画整理事業

が仮に平成26年にスタ
ートすれば、世帯も増
加するので税収の増加
を見込めると思う。高
齢者対策、医療費の伸
びを止めるべく、介護
保険広域認定の弥富市、
飛島村、関係者と連携
してのいろいろな施策
や、町として元気なお

年寄りを増やす施策を
考えていきたい。

問 鉄道のインフラ整
備が遅れている。町の
財力ではいつまでもで
きないのではないかと。

**今後も粘り強く交渉
するつもりである。**

横江町長

富吉駅のバリアフリ
ーに伴うエレベーター
はご協力いただき設置
することができた。近
鉄蟹江駅についても駐
輪場の整備とともにロ
ーターの整備、周辺
整備も近鉄サイドと積
極的に話し合いをして
いきたい。JR 蟹江駅
の橋上駅、高架の問題
も含めて今後とも粘り
強く交渉するつもりで
あり、調査費を予算要
求させていた。だいた
J R の考え方をしっか
りと認識し、町として
何ができるのか平成24

年に道筋をつけていき
たい。

問 河村名古屋市長を
訪問し、横江町長は「
共和国構想」に賛成だ
と報道されていた。中
身が解らないまま、た
だちに賛成だと駆けつ
けるのは、町内の名古
屋市合併を進める住民
運動を意識しての自分
本位の行動ではないか。

**自分本位に物事を考
えていくつもりは全
くない。**

横江町長

私自身も尾張名古屋
共和国についてはどう
いう構想なのかわから
ない。ただ「連携でき
るところから連携しま
せんか。」と河村市長
はしきりにおっしゃっ
ていた。協働連携して
いくという考え方はど
んどん進めていきたい
と思う。

会派代表が問う

代表質問

蟹江町も「街コン」を



問 少子化の要因の一つとして、未婚化が進んでいることが考えられる。結婚支援事業を行っている自治体もあり、設営に地域の飲食店を利用し街の活性化にも繋げている。当町でも考えられないか。

問 防災マップ作成には避難所として民間の高層住宅も活用しなければならぬ。その対応は。

7施設10棟のビルと契約した。

横江町長

ある一部の飲食店では試行的に行われていると聞いている。個人情報の問題があり、管理をしっかりと考えた上で一度取り掛かってみると面白いと感じている。商店街の活性化にも一役買うことになる。

横江町長

3月1日現在の緊急避難ビル等の協定締結指定状況は、4階建て以上の建物で7事業者とおおむね10棟契約している。

また、30町内会の嘱託員にも、3階建て以上の建物を、近所の方の一時避難場所としてお願いしている。今後もし引き続き、嘱託員会議でお願いしていきたい。



▲「街コン」で地域の活性化に繋げ

この件についてはしっかりと勉強させていただきたいと思っている。

問 東郊線は40年前に都市計画道路に指定されている。道路拡幅は本町5の交差点南北以外、未着工である。近鉄踏切の渋滞も問題である。町の方針は。

鋭意努力をさせていただきます。

横江町長

横断歩道設置や駅前ロータリーとの接続問題などもあるので、早急かつ慎重に考えていきたい。また、ことあるごとに県道昇格を県幹部にお願いしている。

海部地区環境事務組合管理者になるのでもしっかり検証していきたい。

横江町長

一宮市と岩倉市が平成24年度から実施すると聞いている。4月から海部地区環境事務組合管理者になるため、しっかり検証していきたい。

また、海部地区環境事務組合として現在粗大ごみの一部からレアメタルを取り出す実験を行っている。また、微々たるものであるの

会派代表が問う

代表質問

須成祭が国の重要無形民俗文化財になる



問 「文化財の保護と普及啓発に、より一層力を注いでまいります」と言っているが、その具体的な内容は。また、須成祭には大変な人力と多額の費用が必要となるが、町の一般会計予算に組み入れて支援できないか。

地域に積極的に発信をしたい。

横江町長

須成祭が国重要文化財になったというポスターを早速、関係機関、関係公共機関にお配りしている。近鉄にお願いして横幕の掲揚を検討しており、祭りの中心である建速神社・八



▲国の重要無形文化財となった須成祭

劍社の入り口にも立て札もしくは掲揚幕を張って町民の皆様にも把握していただくよう努めていきたい。

現在、観光協会として約140万円須成祭の補助金として出している。現在の補助金を使うか、内容をお示しただいて、別枠でサポートできるものがあるれば協力させていただきたい。

問 猪俣理事長の死亡により、JR蟹江駅北の開発が遅れることがないように、全力投球せよ。また、南北を結ぶ自由通路の整備を含め橋上駅を26年度までに完成させるように最大限努力せよ。

JRとは、やっと折衝の場ができた。

横江町長

理事長には駅北開発の基盤をつくっていたのだいた。死去されたことは痛恨の極みであるが、完成に向けて予定どおり進めていきたい。JRとは、やっと折衝の場ができた。何年までにやれといわれるとこの場では答えられないが、スタートに付いたことをご理解いただきたい。そして迅速に、正確にことを進めていきたい。

問 JR蟹江駅北を須成区に、駅南を今区、駅前区と区割りをすべきと思うが考えを示せ。

前向きに検討するが、皆様に協議いただくことが一番肝心ではないか。

横江町長

町内会を含めて町界町名変更もしっかり皆

様で協議していただくことが一番重要だと思っている。町としてもその考えの中でしっかりと方向性を定めていきたい。駅北が完成し、新地番となるので、須成学区の問題も含め、早々に相談を申し上げスタートさせていただくべく皆様で協議をお願いしたい。

問 町民プールを24年の夏も休まず出来る方法を考えよ。

しっかりと考えをまとめ、再度示す。

横江町長

近隣市町村のプールや学校のプールの利用を含めて、どうしていくか関係者として話話をさせていただき、考えをまとめ、再度皆様にお示しさせていただきます。

会派代表が問う

代表質問

地域との連携を深め 協働事業を推進せよ



問 体育館が全面的にリニューアルされ、利用者の利便性は向上すると思うが、使用料に対する金額の査定基準を何処に置くのか。

内容については全員協議会でお話させていただく。

横江町長

内容については全員協議会でお話させていただきましたが、実際利用していただいている皆様にはこれからもご意見を賜ってまいりたい。

問 歴史民俗資料館は平日の見学者が少ない。縮小もしくは、思い切った見直しが必要ではないか。

検討課題に値すると思っている。

横江町長

先般、内部のリニューアルをさせていたのだが、インドア、アウトドアの展示の方法やこれからの民俗資料館のあり方も含めて検討課題に値すると思っている。特に、蟹江城址跡の整備と絡めて、担当者としてしっかり協議をした上で進めていきたい。

問 蟹江町も、地震による液化化が心配される。水道管、下水道管の震災による備えは万全か。

下水道は耐震管を布設しており、上水道は順次耐震管に布設替えを行っていく。

横江町長

下水道については、阪神・淡路大震災に匹敵する地震にも耐えうる強度を備えた耐震管で、大丈夫であると考えているが、関係各位と相談し、費用対効果をしつかり考えながらやっていきたい。上水道については、重要箇所耐震管布設替えは行っている。また有収率向上のため老朽管の更新を行っており、それを踏まえて耐震対策を施していきたい。

問 蟹江川水辺スポットは、町との協働事業のなかで、ボランティアや地域に対して情報の共有がない。コミュニケーションをどのようにとるのか。

きちつと方針を定めたい。

横江町長

蟹江川水辺スポットは県と事業を進めてきた。左岸堤については特に舟入地区の皆様は協力いただいている。町としてきちつと方針を定め、地域周辺の皆様にもご協力賜りたい。



鹿島側

舟入側

▲整備された蟹江川水辺スポット（二ツ矢橋から北側）

会派代表が問う

代表質問

施策方針と予算は町民の期待に応える内容か



横江町長

① J R 蟹江駅北區面整理事業はまもなく終結を迎える。近鉄蟹江駅周辺の整備は、駅前口一タリ一整備や駐輪場整備、駅南の土地整備

の存在価値をアピールするとともに、社会福祉協議会とのパイプをもっと太くやっていきたい。

問 予算編成の重点課題と事業内容について
① 社会基盤事業として J R 蟹江駅北の整備と橋上橋について、近鉄蟹江駅と駐輪場の整備、富吉駅南側の市街化事業計画の内容は。② 少子高齢化対策は充分か。③ 安心安全のまち、特に防災対策は重点課題であるが計画は。④ 体育館の改修工事に着手するが、老人福祉センター改修の考えは。⑤ 雇用対策と生活相談の体制は充分か。

について、近鉄と具体的な話し合いをこれから進めていくつもりである。富吉駅南側は、蟹江高校跡地購入の問題と合わせ、開発をこれから推し進めていきたい。また、J R 蟹江駅北周辺や近鉄蟹江駅周辺、富吉南の地権者の皆様に考え方を聞くため、アンケートを実施している。

③ 津波に対する避難訓練を中心とした防災訓練、地域の避難場所の設定を含め、町内会長や地域の代表、議員の皆様と今後調整をし、減災の方法を考えていきたい。

② 平成24年度に蟹江南保育所がオープンする。定員は200人まで受け入れることが出来るが、早朝、延長を含めしっかりと対応していきたい。また、仮設園舎を蟹江児童館として開館する。高齢化対策も、包括支援センター

④ 現在入浴施設が2つありランニングコストも大変かさんでいる。近い将来1つにして、利便性の良いようにする必要があると考えている。

⑤ 平成23年度から町単独で相談窓口を開いている。

事業計画、総合計画の5本の柱でもって、それぞれの立場で町政を進めていく。

問 横江町長二期目最後の年、7年間の自己評価は何点か。

問 横江町長二期目最後の年、7年間の自己評価は何点か。

自己採点をはっきり決めたことはない。



▲ J R 蟹江駅北改札口を含めた社会基盤整備を進めよ

横江町長

町民皆様の考えがあると思うので、自分自身を採点することについては明言を避けさせていた。ただきたい。

アンケート調査ではなく、研究会を発足したい。

横江町長

問 名古屋市合併、海部地区市町村との合併について、民意を大切に決断するというのが、町民の声としてアンケート調査の実施の時期を示せ。

アンケート調査ではなく、研究会を発足しようと思う。合併を目標にするのではなく、いろいろな協働で地域づくりができ、近隣団体がひとつの団体として協力できればと思っている。

会派代表が問う

代表質問

町の活性化で魅力あるまちづくりを推進せよ



問 発達障がい早期発見のための5歳児健診が国のモデル事業として実施されている。この5歳児健診を、町単独事業として継続推進せよ。

横江町長 5歳児健診は5年間の施策であり平成25年度が一つの区切りとなる。しっかりとデータを蓄積して25年度まで粛々とやらせていただき継続できるものであれば経過状況をしっかりと見据えた上で今後のことを考えていきたい。

経過状況を見据えた上で、今後のことを考えていきたい。

しかし、これは必要な施策であると考えているので、今後継続していききたい。また、フォーリー体制が肝心であるのでしっかりと確立しつつ考えてやっていきたい。ご意見をこれからも賜ってまいりたい。

関係団体に相談しながらしっかりとした計画を立てていく。

横江町長

①平成24年度は蟹江高校跡地にて総合防災訓練を蟹江町主導で行うが、地域の特性を生かした訓練ができないか計画を立てたい。いろいろな目的を持ってやってみる地域があるので、地域の皆様にも意見を賜ってできる範囲でやっていきたい。

問 住民の防災意識を高めるために、住民主体の避難・生活体験訓練で助け合い、役割分担等を学び、その中に女性の視点からの防災対策にも力を入れることも重要だ。そこで、

②女性の観点から防災計画をどのように見ると関係団体に相談しながらしっかりとした計画を立てていくことが必要だと思う。女性の視点でしっかりと企画し、提案していただけるような環境作りを担当課で考えていきたい。

横江町長

問 JR蟹江駅北の区画整備事業が、平成26年に終了する。駅の南北を結ぶ橋上化の整備が検討されている蟹江駅を中心に南北一体的な整備を図れ。

総合的にやっていかなければならない。

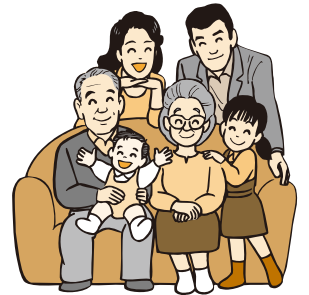
JRの東郊線踏切の拡幅問題、駅北の問題、



▲発達障がい早期発見のため5歳児健診を継続せよ

駅南の商店街の問題、新本町線開通の問題等、総合的にやっていかなければならない。社会資本整備総合交付金などのように活用し整備していくか、橋上駅の問題や高架の問題も含めてこれから進めたい。進捗状況の中で進展があれば皆様にお話をさせていただきご協議をお願いしたい。

予算 審議



24年度予算（一般会計、特別会計8件、水道事業会計）案を審議し、指摘事項や今後の行政運営への要望など活発に発言し、すべて原案どおり可決しました。
私たちが指摘・要望した事項の一部をお届けします。

24年度

予算総額

（金額は万円単位に四捨五入）

会計別	予算額	◎全員賛成 ○賛成多数	反対者
一般会計	88億1,724	◎	
特別会計	国民健康保険事業	34億7,095	◎
	土地取得	1億8,003	◎
	介護保険管理	18億4,507	◎
	コミュニティ・プラント事業	934	◎
	公共下水道事業	10億7,150	◎
	後期高齢者医療保険事業	6億837	◎
合計	160億250		
水道事業	8億6,642	◎	

問 昨年、電力不足の関係から庁舎でも節電を行ったと思うが、どれくらいの効果があったのか。

江上総務課長

夏の3ヶ月については約20%以上節電でき、通年では10%程度になると考えている。

らい、3町内会が合意の上で進めていけると良いと思う。

問 蟹江南保育所が新しくオープンするが、送り迎えのラッシュ時には駐車場が非常に厳しい。改善していく考えがあるのか。

鈴木子育て推進課長

今までは西園庭と海門公民館前が駐車場だったが、それに加えて蟹江児童館と保育所西側の道路沿いにも駐車場を設けたので、以前と比べて駐車スペースは確保している。

鈴木子育て推進課長

4月1日から1週間、児童保育所として利用させていただく。児童保育所は、どうしても休み期間中は児童数が増えるので、要綱を設け、夏休みにも児童保育所として利用していきたい。

問 各町内にホースの格納庫が設置されているが、格納庫内に操作マニュアルを用意してはどうか。

鈴木消防長

マニュアルは格納庫内に張っており、年内に1回、消防職員が調査をしている。1年の間にはがれた場所もあるかもしれないので、再度調査する。

村上環境課長

町内会には持ち去り禁止のステッカーを配布している。ブルーシートにステッカーを張り啓発している。被害が頻繁にあるところは、警察のパトロールをお願いしている。また、愛西市、あま市と共に、条例制定を検討している。

加藤下水道課長

現在、藤丸団地から近鉄蟹江駅、蟹江小学校までが区域となっており、所有者2490人のうち、1274人約51%の方が接続していただいている。

問 JR北の土地区画整理事業が終わりに近づいているが、町界町名の設定の見直しは。また、藤丸地区、須成地区を含めた3つの町内会全体を一度に変更していくことが良いと思うか。

伊藤政策推進室長

JR北の区画整理が終わる時点で一緒にやれるのが一番良いが、どうしても区画整理が先行するので将来を見越して町名をつけても

問 蟹江南保育所オープンにより仮設保育所が児童館となるが、旧児童館の扱い方についてどのようになっているのか。

先行する。町名をつけても

総務民生・防災建設 常任委員会の審査

3月定例会では、総務民生、防災建設の各常任委員会が開催され、8件の審査を行いました。質疑から一部をお届けします。

総務民生

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例及び蟹江町立学校体育施設開放に関する条例の一部改正について
(全員賛成)

問 スポーツ基本法が改正されたことにより、今後スポーツ推進委員に変更となるが、役割はどのように変わるか。また、地区スポーツ推進員の名称はどうなるのか。

川合生涯学習課長

ネーミングが変更されるのみで、役割についてはスポーツの推進・振興、生涯学習課の事業にも協力をいただいており、何ら変わらない。地区スポーツ推進員の名称が紛らわしいので、地区スポーツ協力員に変更する。

蟹江町民プールの設置及び管理に関する条例の廃止について
(継続審査)

問 廃止条例だが、町民プールがなくなるのではないか。

石垣教育長

町民プールを無くすわけではない。賃貸借契約が新たに結ばなくなり、条例第2条の設置場所を無くすため廃止条例を上程した。

問 町民プールの賃貸借契約について問題はなかったのか。

鈴木教育部次長

6月から8月の単年度契約であり、契約については問題なかった。

問 廃止条例をこの時期に出さなくても、代替案をもう少し模索してからでも良いのではないか。

鈴木教育部次長

24年度の予算計上がなされておらず、条例の整合性に対して疑問である。よって、条例整備のためこの時期に廃止条例を提案した。

問 町民プールの代替案として、小中学校のプールは利用できないか。

石垣教育長

小中学校のプールは使用可能だが、7月に水泳指導などがある。また、監視員やセキュリティ、ロッカーなどの問題もあり難しい。しかし、これもひとつの視野に入れながら検討をしたい。

この結果、委員から再度、趣旨・目的に沿った案を模索してもらうため、閉会中の継続審査としました。なお、4月17日に

当委員会を開催し、審議した結果、可決決定しました。

防災建設

蟹江町下水道事業区域外流入分担金条例の一部改正について
(全員賛成)

問 許可区域を計画区域に変更した理由は。

下水道法第4条の改正により、「事業計画を定め国土交通大臣の許可を受けなければならない。」が「事業計画を定めなければならない。」に変更されたことに伴う改正である。そのため、公共下水道事業計画の同意が不要になり、協議または届出のみで済むことになった。

24年第1回(4月)臨時会

去る4月17日に、24年第1回臨時会が開催され、2議案が可決されました。

条例改正を審議

税条例の改正

(全員賛成)

地方税法などの一部改正により、たばこ税の税率改正、町民税の分離課税に係る所得割額の特例の廃止など、税条例の一部改正をしました。

補正予算を審議

一般会計

★補正額
400万1千円
★補正後の額
88億2124万4千円

(全員賛成)



議長
中村英子

5月11日、臨時会が開かれ、議長、副議長、委員長、委員などが新しく決まりました。任期は、申し合わせにより1年間です。



副議長
吉田正昭

総務民生常任委員会

総務部、民生部、教育委員会の所管に関する事項、他の常任委員会に属さない事項で、付託された案件などを審査・調査します。



委員長
松本正美



副委員長
安藤洋一



山田新太郎



高阪康彦



中村英子



菊地 久



吉田正昭

防災建設常任委員会

産業建設部、上下水道部、消防本部の所管に関する事項で、付託された案件などを審査・調査します。



委員長
奥田信宏



副委員長
戸谷裕治



伊藤俊一



黒川勝好



佐藤 茂



大原龍彦

監査委員

(議会選出)

高阪康彦

議会運営委員会

会期の決定、議事日程など議会の運営に関することを協議します。

委員長
菊地 久

松本正美
奥田信宏

副委員長
高阪康彦

伊藤俊一

議会広報編集委員会

議会だよりの発行、ホームページの掲載に関することを協議します。

委員長
山田新太郎

松本正美
戸谷裕治

副委員長
佐藤 茂

安藤洋一
黒川勝好



ここに生前のご功績をたたえ、哀悼の意を表すものです。

猪俣二郎議員 逝く
猪俣二郎議員は去る3月7日に急逝されました。猪俣議員は平成7年4月に初当選後、5期17年近くの間、議長・副議長・監査委員などの要職を歴任され、町発展にご活躍をされました。

訃報

宮城県仙台市・松島町を視察 松島町の議会基本条例と震災による地盤沈下の現状と対策を学ぶ

清新クラブ・21フォーラム

本年2月20日、21日に仙台市周辺と松島町を視察しました。

まず、仙台の高速道路から海岸線の被災地を視察しました。まだまだ現地では、被災後も手つかずのままの場所や家屋が多数あり、震災のすさまじさを今に伝えております。

松島町では、最初に議会基本条例の策定の経過と現状について説明を受けました。町民から支持の得られる議会活動を目指しており、大変参考になりました。

次に、松島町の地盤沈下の現状と対策の説明を広範囲の現場を視察しながらお聞きしました。完全復旧にはほど遠い光景でしたが、「心配せずに観光に来てほしい。それが何よりの復興支援になる。」と言っておられたのが、印象的でした。



議会ホームページのご案内

議員の紹介・定例議会の日程・会議録の閲覧・クローバーTVによる議会放映の日程・議会だよりの一般(代表)質問者と質問項目...など、町議会を知っていただくために、いろいろな情報を掲載しています。

- ご覧になる場合は、
①町ホームページへアクセスする。
②「蟹江町議会」をクリックする。

議会放映

一般質問の様子をクローバーTVで生放映。当日午後7時から再放映も実施!